

令和6年度 デジタル田園都市国家構想交付金事業

事業名	宇宙ビジネスを活用した米ブランド化事業（令和5～7年度）	交付対象 事業費	11,696 千円	交付金額	5,848 千円				
担当課 担当班	みらい創生課 政策・SDGs推進班								
事業概要	宇宙に着目した米づくりを行うことで、他の生産地との差別化を図り、米の販売額の向上を目指す。衛星データを活用した米作りを構築するため、集落営農組織と、営農指導者等の育成も図りながら、土壌調査や米の生育調査と衛星データと結びつける。データに基づき、最も適正な時期に収穫した米をブランド化することで生産者の農業収入の向上や宇宙との関連事業で波及した新たな産業の創出する。将来的に、農家のスマートフォン等のタブレットで閲覧可能とする仕組みづくりを構築する。								
事業内容	<p>【令和6年度(2年目)】</p> <p>①衛星データを活用したブランド米づくりPR 事業主体と連携を取り、県内外において商談会やイベント参加により、PR活動を行いブランドの強化を図った。</p> <p>②水稻の生育分析 2023年度に町内で調査した生育分析データを、生育衛星データ管理システムに反映させ、システムの構築を行った。</p> <p>③宇宙関連事業の伴走支援 衛星データを活用した米のブランド化を実施するためのノウハウや事業の組み立てなどの支援を受けた。</p>								
KPI	指標(単位)		現時点	2023年度 増加分	2024年度 増加分	2025年度 増加分	2026年度 増加分	2027年度 増加分	計
	①農業経営体数(経営体)	計画	947	3	3	4			10
		実績	-	3	3				6
	②玖珠町基幹的農業従事者数(20～39歳)の人数(人)	計画	27	3	3	5			11
		実績	-	3	3				6
	③玖珠町での米価格(玄米)(円/30kg)	計画	5,800	5,800	5,800	6,400			18,000
		実績	-	700	4,500				5,200
	④町内での宇宙関連事業における新規起業者数(起業者)	計画	0	0	1	1			2
実績		-	0	0				0	
2024年度 (R6年度) KPIの達成・未達成 に関する理由及び事業の見直し等	<p>令和5年度に町内の各ポイントにて水稻の生育分析を行った。得られた情報活用し、ブランド米生産に繋げるシステムの構築を図った。</p> <p>① 衛星データを活用した水稻管理を実施することで、省力化及び効率化を図り、農業の魅力増大により、農業経営体数の増加を目的としている。実績数値については、5年に一度の農林業センサスを活用しているため、2024年度実施の調査結果の公表後に評価する。</p> <p>② 宇宙ビジネスと玖珠町の産業を結び付ける取り組みにより、新しい産業や仕事を創出し、若い世代の転出数を減少させることを目的としている。しかし、具体的な宇宙ビジネスとの協調がなされていない状況にある。実績数値は国勢調査を活用するため、2025年度実施の調査結果の公表後に評価する。</p> <p>③KPIの設定に誤りがあったが、変更できなため考えられないような計画数値となっている。玄米価格の推移：R4年産5,800円/kg、R5産6,500円/kgR6産11,000円/30kg 2024年からの米価の高騰により、玄米価格が大幅な値上がりとなっている。今後は、市場の動向を見定めるとともに、ブランド米として高水準を維持する。</p> <p>④ ブランド米の販売が2025年秋からとなったことから、宇宙関連事業の企業数はゼロであった。水稻生産における衛星システムの構築による効果やメリットを広くPRし、その他の農産物生産を含む新たな産業において、衛星データを活用する事業者等の誘致や新規起業者に働きかけを図っていく。</p>								